

石川県白山市市ノ瀬で採集されたハチ類の追加記録 2022年と2023年採集のハバチ類, ハナバチ類及びヒメバチ類

中田 勝之*¹・加藤 優羽*²・渡辺 恭平*³

*¹石川県白山自然保護センター, *²神奈川県横浜市, *³神奈川県立生命の星・地球博物館

Additional records of sawflies, bees, and ichneumonid wasps in the Ichinose area, Mt.Haku-san, Ishikawa prefecture, Japan, in 2022 and 2023

Katsuyuki NAKATA *¹, Yu KATO *², Kyohei WATANABE *³

*¹Hakusan Nature Conservation Center *²Yokohama, Kanagawa, Japan,
*³Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

緒 言

石川県白山市市ノ瀬は白山山塊に位置し、交通の利便性がよいことから、過去に様々な昆虫の調査が行われてきた。特に、多様な食性や生活様式を持つハチ目については、故富樫一次博士により盛んに調査されてきたが、その後は長らく調査がされてこなかった。しかし、近年第一著者により標高830mの市ノ瀬ビジターセンター（以下、センター）敷地内、その周辺および白山で調査が行われている。一部の成果は中田（2023a, b）および中田・渡辺（2023）で報告されている。中田（2023a）はセンター敷地内に見られたカリバチ類と寄生蜂類を除く8科25種のハチを報告し、中田（2023b）ではセンター建物に営巣したカリバチ類と寄生蜂類10科30種を報告した。その後、白山で採集されたハナバチ類とヒメバチ科寄生蜂類については一部種名が判明し、中田・渡辺（2023）で5科20種を報告した。したがって、重複するものを除いて18科74種が第一著者による調査で市ノ瀬および白山から記録されている。

なお、中田・渡辺（2023）では、ニホンジカの高山植物等への摂食による森林生態系破壊の懸念や現時点での調査の必要性について言及しており、本調査においても同様の認識で調査を行っている。

今回、その後に種名が判明した種がいくつかあることから追加記録を報告する。

調査方法

調査は2022年及び2023年の5～10月にかけて、センター敷地内の見つけ採りのほか、同センター周辺で直径36cmの捕虫網を用いた掬い採りにより行った。採集リストにおける採集法を記していない種はセンター敷地内の見つけ採りである。

調査時間は任意の日程で毎月10回程度、9～17時の間に1回15～60分程度とした。

採集種リストの学名及び配列について、ハバチ類は内藤ほか（2020）、ハナバチ類は多田内・村尾編（2014）、ヒメバチ類は、渡辺ほか（2024）に従った。

なお、採集と標本の保管は記述のある種以外は、全て第一著者が行っている。

結 果

ヒラタハバチ科1種、ミフシハバチ科1種、ハバチ科10種、ムカシハナバチ科2種、ヒメハナバチ科3種、コハナバチ科16種、ハキリバチ科2種、ミツバチ科3種、ヒメバチ科15種の計53種を確認した。

これらのうち、6種は種名までは判明しなかったもので、1種は既報の同定の修正である。結果として、第一著者による調査で記録されたハチは19科126種となった。

以下に今回追加される標本のデータを記述する。

ヒラタハバチ科

Pamphilius nakagawai Takeuchi, 1930 ナカガワヒラ
タハバチ

1♀, 25-V-2022.

上記記録は中田 (2023a) でツヤクロヒラタハバチ *Pamphilius ishikawai* Shinohara, 1979 と報告したもので、本種に訂正する。

ミフシハバチ科

Arge dimidiata (Fallén, 1808) キアシチュウレンジ

1♂, 9-VI-2023.

ハバチ科

Strongylogaster xanthocera (Stephens, 1835) ツノキ
ナガワラビハバチ

1♀, 20-V-2022.

Dolerus sp. スギナハバチ属の一種

1♂, 1-VI-2022.

山地から平地までよく見られるが、分類学的再検討の必要な属で、現状では一部の種を除きオスのみの同定は困難である。

Euura caeruleocarpa (Hartig, 1837) アカアシヒゲナ
ガハバチ

1♀1♂, 13-V-2022.

Eutomostethus togashii Seiyama, 1981 トガシクロマル
ハバチ

1♀, 8-VII-2022.

Athalia japonica (Klug, 1815) ニホンカブラハバチ

1♀, 12-V-2023; 1♀, 15-V-2023; 1♀, 31-V-2023.

Asiemphytus albilabris (Takeuchi, 1929) ツマジロウ
ツギハバチ

1♀, 21-VIII-2023.

Allantus meridionalis (Takeuchi, 1933) オオシロオビ
クロハバチ

1♀, 13-VIII-2023.

Allantus luctifer (Smith, 1874) ハグロハバチ

1♂, 10-VI-2023; 1♀, 29-VIII-2023.

Tenthredopsis sp. シケハバチ属の一種

1♀, 1-VI-2022.

本属は種までの同定が難しい分類群であり、無理な同定は避けた。

Pachyprotasis sp. キモンハバチ属の一種

1♂, 1-VI-2022; 1♀, 8-VII-2022.

本属は種までの同定が難しく、また多くの未記載種の存在が知られている分類群であるため、無理な

同定は避けた。

ムカシハナバチ科

Hylaeus (Nesoprotopis) globulus (Vachal, 1903)

アルマンメンハナバチ

3♂, 16-VII-2023.

Hylaeus (Nesoprotopis) transversalis Cockerell, 1924

ニッポンメンハナバチ

1♀, 8-VIII-2023.

ヒメハナバチ科

Andrena (Andrena) ishiharai Hirashima, 1953 イシ

ハラヒメハナバチ

1♀, 12-V-2023; 1♀, 15-V-2023; 1♀, 21-V-2023; 1♀,
22-V-2023.

Andrena (Hoplendrena) akitsushimae Tadauchi &

Hirashima, 1984 アキツシマヒメハナバチ

1♀, 5-VII-2023; 1♀, 16-VII-2023; 1♀, 2-VIII-2023.

Andrena (Stenomelissa) halictoides Smith, 1869 ホオ
ナガヒメハナバチ

1♀, 15-VI-2023.

コハナバチ科

Lasioglossum (Ctenonomia) blackistoni Sakagami &

Munakata, 1990 ブラキストンコハナバチ

センター駐車場周辺で掬い採り, 1♀, 2-X-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) apristum (Vachal, 1903) ニ
ジイロコハナバチ

センター駐車場周辺で掬い採り, 2♀, 3-VIII-2023; 1
♀, 8-VIII-2023; 1♀, 9-VIII-2023; 1♀, 16-VIII-2023; 1
♀, 19-VIII-2023; 1♀, 2-X-2023; 1♀, 5-XI-2023; 1♂,
7-X-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) baleicum (Cockerell, 1937)

シオカワコハナバチ

1♀, 4-V-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) caliginosum Murao, Ebmer &

Tadauchi, 2006 ヨイヤミコハナバチ

センター駐車場周辺で掬い採り, 1♀, 5-IX-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) duplex (Dalla Torre, 1896)

ホクダイコハナバチ

1♀, 10-VI-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) hoffmanni (Strand, 1915) ニ

セキオビコハナバチ

1♂, 29-VIII-2023.

Lasioglossum (Evylaeus) nipponense (Hirashima,

1953) ニッポンコハナバチ
1♂, 22-V-2023; 1♂, 25-VII-2023.
Lasioglossum (Evylaeus) vulusm (Vachal, 1903) ヒゲ
ナガコハナバチ
1♀, 28-VI-2023.
Lasioglossum (Evylaeus) allodalum Ebmer et
Sakagami, 1985 クラカケチビコハナバチ
1♂, 18-V-2023; 1♂, 21-V-2023.
Lasioglossum (Evylaeus) hirashimae Ebmer et
Sakagami, 1985 ウマヅラチビハナバチ
渡辺保管, 1♂, 4-VIII-2023.
Lasioglossum (Lasioglossum) exiliceps (Vachal, 1903)
ミヤマツヤコハナバチ
1♀, 23-VI-2023.
Lasioglossum (Leuchalictus) mutilum (Vachal, 1903)
サビイロカタコハナバチ
1♀, 30-VIII-2023.
センター駐車場周辺で掬い採り, 1♀, 15-IX-2023; 1
♀, 5-XI-2023.
Lasioglossum (Leuchalictus) nipponicola Sakagami &
Tadauchi, 1995 ニッポンカタコハナバチ
1♂, 21-VIII-2023; 1♂, 29-VIII-2023.
Lasioglossum (Leuchalictus) occidens (Smith, 1873)
シロスジカタコハナバチ
1♀, 8-IX-2023.
Lasioglossum (Dialictus) sp. アオコハナバチ属の 1
種
1♀, 18-VI-2023.
Sphecodes scabricollis Wesmael, 1835 ミズホヤドリ
コハナバチ
1♀, 30-VIII-2023.

ハキリバチ科

Osmia cornifrons (Radoszkowski, 1887) マメコバチ
lex., 4-V-2023; 2exs, 15-V-2023; 1ex, 25-V-2023; 1ex.,
27-V-2023.
Osmia taurus Smith, 1873 ツツハナバチ
lex., 9-V-2023; 1ex., 12-V-2023.

ミツバチ科

Ceratina (Ceratina) megastigmata Yasumatsu &
Hirashima, 1969 クロツヤハナバチ
1♂, 29-VIII-2023.
Ceratina (Ceratinidia) flavipes Smith, 1879 キオビツ
ヤハナバチ

1♀, 19-VIII-2023; 1♀, 3-IX-2023.
Ceratina (Ceratinidia) japonica Cockerell, 1911 ヤマ
トツヤハナバチ
7♂, 12-V-2023; 1♀, 10-VI-2023; 1♂, 5-IX-2023.
センター駐車場周辺で掬い採り, 1♀, 19-VIII-2023; 1
♀, 29-VIII-2023; 1♀, 23-IX-2023; 1♀, 5-IX-2023.

ヒメバチ科

Syzeuctus sambonis Uchida, 1928 サンボウツヤウス
マルヒメバチ
1♀, 13-VIII-2023.
Lissonota sp. ウスマルヒメバチ亜科の 1 種
1♀, 12-V-2023.
Dusona sp. チビアメバチ亜科の 1 種
1♀, 29-VII-2023.
Acroricnus ambulator ambulator (Smith, 1874) キア
シオナガトガリヒメバチ
lex., 28-VI-2023.

以下の記録は渡辺の同定標本を参照し中田が同定。

lex., 18-VII-2022; lex., 21-VII-2022; lex., 25-VII-2023;
lex., 2-VIII-2022; lex., 2-IX-2022; lex., 10-IX-2022;
lex., 15-VII-2023.
Acroricnus japonicus Momoi, 1970 クロゲオナガト
ガリヒメバチ
lex., 19-VII-2023.
Nippocryptus vittatorius (Jurine, 1807) ホシクロトガ
リヒメバチ
lex., 21-VIII-2023.
Picardiella tarsalis (Matsumura, 1912) コクロオナガ
トガリヒメバチ
lex., 14-VIII-2023.
Trychosis breviterebratus Watanabe, 2020 ヒゲジロマ
ルムネトガリヒメバチ
lex., 8-VIII-2023.
Cratichneumon bifasciatus (Uchida, 1926) フタシロ
オビヒメバチ
lex., 14-VIII-2023.
Stenichneumon nigriorbitalis Uchida, 1930 クロメフ
チヒメバチ
センター駐車場周辺で掬い採り, 1ex., 4-X-2023.
Togea albofasciata Uchida, 1926 シロスジトゲヒメ
バチ
lex., 3-IX-2023.
Perithous scurra japonicus Uchida, 1928 キスジハチ

ヤドリヒメバチ
lex., 4-VIII-2023.

Pimpla pluto Ashmead, 1906 クロフシヒラタヒメバチ
lex., 18-VII-2023.

Theronia laevigata nigra Uchida, 1928 クロツヤヒラ
タヒメバチ
lex., 7-VIII-2023.

Ischnoceros sapporensis Uchida, 1928 サップロコブ
マルズヒメバチ
lex., 12-VI-2023.

考 察

中田・渡辺 (2023) において、2023年に中田が白山の3つの登山道の標高1300～2400mで掬い採りによって採集したハナバチ類16種を記録している(環中地国第2303302号により環境省許可済)。

今回得られたハナバチ類の分布特性を理解するために中田・渡辺 (2023) で報告したハナバチ類のデータと併せた計3科32種のハナバチ類について、標高830mの市ノ瀬、1300～1700m、1700～2000m、2000～2300m及び2300～2400mの5区間別に各地点で採集された種をまとめたものが表1である。

それぞれの区間は採集された標高と主な植生及び植生帯区分によって区分している。標高830mはブナ帯で市ノ瀬に多いドロノキ等を主な植生としており、1300～1700mはブナ等を主体とするブナ帯～亜高山帯、1700～2000mはダケカンバ等の亜高山帯、2000～2300mはミヤマハンノキ等の亜高山帯～高山帯及び2300～2400mはハイマツ等の高山帯としている。

全体として標高830mの市ノ瀬から21種、1300～1700m地点に10種、1700～2000m地点に7種、2000～2300m地点に5種、2300～2400m地点に3種が確認され、標高が上がるにつれて種数が減少しているほか、全体の半数の16種が市ノ瀬からのみ、4種が1300～1700m地点、2種が1700～2000m地点及び2000～2300m地点の間でのみ確認されている。

また、複数の地点間として3種が市ノ瀬から1700m地点、2種が市ノ瀬から2400m地点及び1種が1300～2400m地点、1300～1700m地点及び1700～2000m地点の間で確認されている。

科別にみると、ヒメハナバチ科では5種のうち、2種が標高1700m以上、3種が市ノ瀬からのみ確認されている。

コハナバチ科では21種のうち、2種が市ノ瀬から2400m、1種が1300～2400m地点、2000～2300m地点、1700～2000m地点、3種が1300～1700m地点、2種が市ノ瀬から1700m地点の間、11種が市ノ瀬からのみ確認されている。

ミツバチ科は6種のうち、1種が1700～2000m地点、1300～1700m地点、1300～2000m地点及び市ノ瀬から1700m地点、2種が市ノ瀬からのみ確認されている。

標高別に種数が異なる要因として、調査時期や調査頻度の違いがその一つであると考えられる。

市ノ瀬の調査は2022年及び2023年5～10月の長期間にわたり行われたことに対して、1300～2400m地点の調査回数は、2023年の7月と9月に1回と8月に3回である(中田・渡辺, 2023)。

本調査は、センター敷地内を主調査地とした限定的なものであり、今後はセンター周辺の各園地や白山の1300～2400m地点、そのほかセンターよりも標高の低い地点においても調査時期や頻度をできるだけ一致させた計画的な調査を行うこと、また、併せて訪花植物等の生態も調査することで、より包括的なハチ相の理解にもつなげてゆきたい。

謝 辞

本報告をまとめるにあたって、センター敷地内及びその周辺での採集に便宜を図っていただいた石川県白山自然保護センターの職員に対して感謝の意を表する。

引用文献

- 内藤親彦・篠原明彦・原秀穂 (2020) 日本産ハバチ・キバチ類図鑑. 北海道大学出版会, 530 pp.
- 中田勝之 (2023a) 2022年に市ノ瀬で採集されたハチ類の記録. 白山自然保護センター研究報告, (49): 49-51.
- 中田勝之 (2023b) 2022年に市ノ瀬ビジターセンターの木製外壁に集まった狩人蜂類とその寄生蜂類の記録. 白山自然保護センター研究報告, (49): 17-21.
- 中田勝之・渡辺恭平 (2023) 白山の石川県側から採集されたハナバチ類とヒメバチ類の記録. すがれおい, (4): 96-99.
- 多田内修・村尾竜起 編 (2014) 日本産ハナバチ図鑑. 文一総合出版, 479 pp.
- 渡辺恭平・伊藤誠人・藤江隼平, 清水壮 (2024) Information station of Parasitoid wasps (<http://himebati.jimdo.com/>) (2024年1月8日閲覧).

表1 本調査 (○) および中田・渡辺 (2023) (●) で確認されたハナバチ類各種と得られた標高

No.	科名	種名	採集された標高 (m) および主な植生と植生帯区分				
			830 ブナ帯 ドロノキ等	1300-1700 ブナ帯～亜高山帯 ブナ等	1700-2000 亜高山帯 ダケカンバ等	2000-2300 亜高山帯～高山帯 ミヤマハンノキ等	2300-2400 高山帯 ハイマツ等
1	ヒメハナバチ科	タカネヒメハナバチ				●	
2	ヒメハナバチ科	トガシヒメハナバチ			●	●	
3	ヒメハナバチ科	イシハラヒメハナバチ	○				
4	ヒメハナバチ科	アキツシマヒメハナバチ	○				
5	ヒメハナバチ科	ホオナガヒメハナバチ	○				
6	コハナバチ科	ニッポンコハナバチ	○	●	●	●	●
7	コハナバチ科	ミヤマツヤコハナバチ	○		●	●	●
8	コハナバチ科	ヌブリコハナバチ		●	●		●
9	コハナバチ科	エブメルツヤコハナバチ				●	
10	コハナバチ科	オスアカコハナバチ			●		
11	コハナバチ科	アルマンカタコハナバチ		●			
12	コハナバチ科	ミヤベアオコハナバチ		●			
13	コハナバチ科	ホソナガアオコハナバチ		●			
14	コハナバチ科	ニジイロコハナバチ	○	●			
15	コハナバチ科	シオカワコハナバチ	○	●			
16	コハナバチ科	ブラキストンコハナバチ	○				
17	コハナバチ科	ヨイヤミコハナバチ	○				
18	コハナバチ科	ホクダイコハナバチ	○				
19	コハナバチ科	ニセキオビコハナバチ	○				
20	コハナバチ科	ヒゲナガコハナバチ	○				
21	コハナバチ科	クラカケチビコハナバチ	○				
22	コハナバチ科	ウマヅラチビハナバチ	○				
23	コハナバチ科	サビイロカタコハナバチ	○				
24	コハナバチ科	ニッポンカタコハナバチ	○				
25	コハナバチ科	シロスジカタコハナバチ	○				
26	コハナバチ科	ミズホヤドリコハナバチ	○				
27	ミツバチ科	クロツヤハナバチ	○	●			
28	ミツバチ科	イッシキマダラハナバチ		●	●		
29	ミツバチ科	ヒメマルハナバチ			●		
30	ミツバチ科	オオマルハナバチ		●			
31	ミツバチ科	キオビツヤハナバチ	○				
32	ミツバチ科	ヤマトツヤハナバチ	○				
計：3科32種			21種	10種	7種	5種	3種